

アーサー・レクティアー Arthur Lechte

豊橋市国際交流員

Toyohashi City Coordinator for  
International Relations



アーサー・レクティアーさんのコラムの英文をみたい方は、豊橋市国際交流協会のホームページ(<http://www.toyohashi-tia.or.jp>)をご覧ください。

### 第4回 銃規制についての個人的な意見

前回のコラムでは、今回のテーマは「海外が日本に対して持つ偏見・ステレオタイプ」にしようと思いましたが、先日のフロリダ州で起こった悲劇もあり、今回は、銃規制について話したいと思います。

#### タスマニア、ポート・アーサーで起こった銃乱射事件

母国のオーストラリアでは20年前にタスマニアのポート・アーサーで起こった乱射事件をきっかけに「銃をもつ権利」を撤廃しました。犯人は一人で、死者35人と負傷者23人をだし、その後、政府は速やかに厳しい銃規制(National Firearms Agreement)を設けました。この制度はショットガンや反自動式のライフルなどの所持を禁止し、およそ64万もの銃が政府によって買い戻され、処分されました。その結果、殺人件数は低下し、大量殺人はその後一度も繰り返されていません。

#### アメリカで起こった銃乱射事件

6月12日にフロリダ州では、アメリカ史上最悪の銃乱射事件が起きました。犯人はナイトクラブで乱射し、死傷者は合わせて100人を超えました。しかしこの事件は銃規制のきっかけにはならず、皮肉にも銃の売り上げは、ますます上がることになるでしょう。

先日このことについて、銃の規制に反対する知り合いと口論になりました。特に、この事件で使われた武器である半自動式のライフル(AR-15)の所持を、禁止した方が良いか否かという点で意見が分かれたのです。

銃を規制しても、結局使う人間が問題であって、銃

そのものは問題でないとされました。

「人を殺めるのは道具ではなく人だ。道具を非難するな。」というのは銃規制反対派からよく聞く言葉です。ある意味この論点では共感できます。例えば犯罪者がいなければ、このような銃がすぐ手に入るような社会でも問題は起きないでしょう。しかし現実はその甘くはありません。

問題は事件が発生する前に、犯罪者とそうでない人を見分けることができないという点にあります。2012年から1000件以上もの乱射事件があったという無残な事実がその信憑性を裏付けています。だからこそ、銃規制のような先制措置が必要だと言えます。銃規制は、様々な国で効果的だという実績があるのにもかかわらず、なぜこれを聞いて真逆の意見がここまで存在するのか、理解に苦しみます。少なくとも、最低限の規制があった方がいいのではないのでしょうか。

現状では「銃を持っていないと身の安全が心配だ。」という人は少なくありません。そして、殺すために設計された危険な武器である銃に「道具」という婉曲表現を使うのもどうかと思います。

結局何が言いたいかというと、銃の規制は「道具を非難する」制度ではないということです。つまり、銃規制とは、一夜で100人も死傷者を出させるような武器が易々と手に入らないようにする制度であると思います。



乱射事件で使われた銃(AR-15)

### エフエム豊橋・ポルトガル語講座、放送中!!

・はなそうポルトガス  
毎週火曜 12:45~  
土曜 12:30~(再放送)

FM 84.3MHz

株式会社 エフエム豊橋  
JOZZ 6AA-FM84.3MHz FM TOYOHASHI INC.  
[URL] [www.843fm.co.jp](http://www.843fm.co.jp)



うまいもんや  
鯛松

Umaimonya TAIMATSU

日替り、松花堂ランチ 700円



〒440-0888 豊橋市駅前大通2-33-1 開発ビルB1F  
☎0532-52-8601 <http://www.taimatsu.jp>  
営業時間/11:30~13:45(平日のみ)  
17:00~22:30(L.O.21:00)  
定休日/日曜・祝日